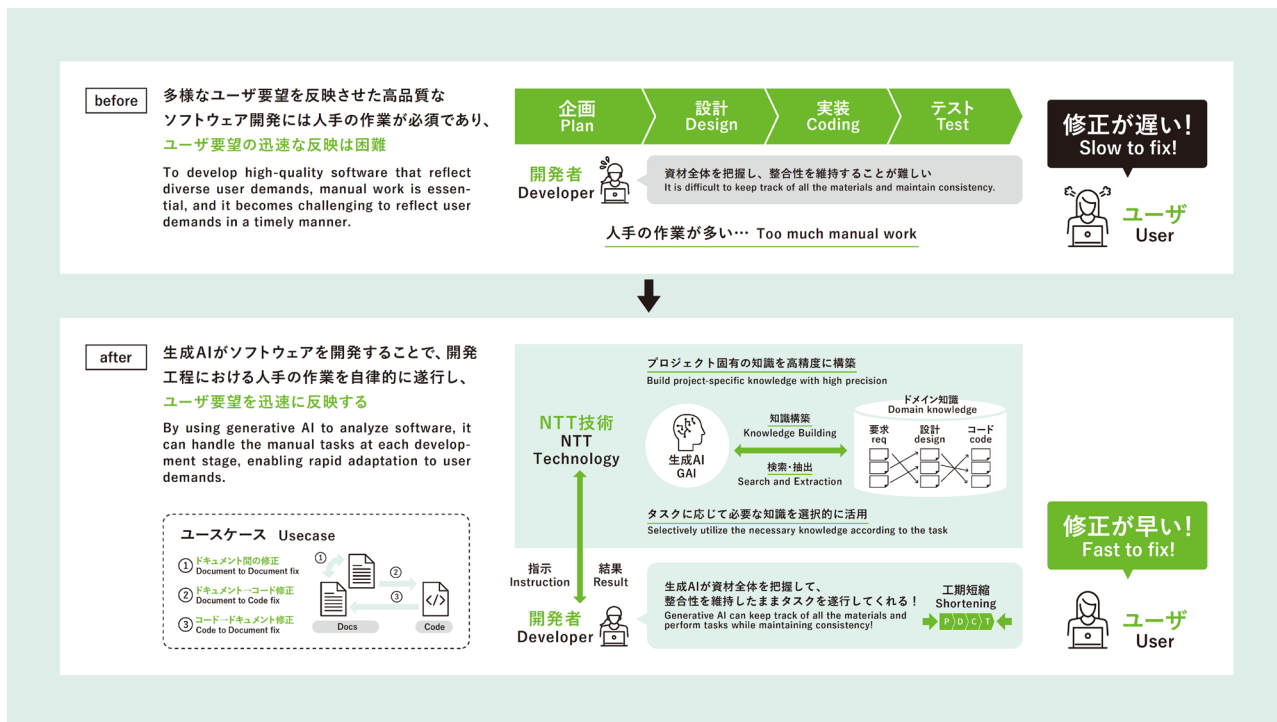


ソフトウェアの新規・追加開発において、生成AIを活用し、 超高速・低コストで高品質なアウトプットを実現します 生成AIによる超高速ソフトウェア開発技術

背景 - 技術課題

- ソフトウェア開発は資材間の依存関係を把握する必要がありますが、生成AIは大量のコンテキストを理解することが苦手なため、重厚長大な資材間の依存関係を把握することが困難です。
- プロジェクトごとに作業が非定形で多様なため、作業ごとに必要な知識が異なり、必要な情報を正確に選択することが困難です。



研究目標 - 成果

ソフトウェア開発にかかる稼働・工期を4割削減・短縮することをめざします。

技術ポイント

01 要素技術

- 多様な開発資材を多面的に解析して依存関係を把握し、知識データベースを構築する技術
- 生成AIに必要な情報を知識データベースから自律的に選択させ、正確にタスクを遂行する技術

02 市中技術差異点

ソフトウェア開発ではプロジェクト固有の知識が求められるため一般的な知識しか有さない生成AIによる高度なタスク遂行は困難。本技術では生成AIに知識データベースから情報を取得させ、高度なタスク遂行を実現

利用シーン 情報技術

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY27-29

【出展企業】
NTT株式会社 コンピュータ & データサイエンス研究所

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
革新的コンピューティングアーキテクチャ研究プロジェクト

【関連Link】
—